

2005年1月24日

中国(東莞)で感光性フィルムの生産能力を増強

日立化成工業株式会社(本社：東京、執行役社長：長瀬 寧次、資本金：153億円)は、中国におけるプリント配線板回路形成用感光性ドライフィルムのさらなる拡大を図るため、中国における同製品の製造、販売会社である日立化成工業(東莞)有限公司の生産能力を増強することを決定しました。約16億円を投じて同社内に生産能力5,000万 m^2 (年ベース)の工場を新設します。

プリント配線板回路形成用感光性ドライフィルムの主要顧客であるプリント配線板メーカーが中国に生産シフトを加速していることに伴い、現在、中国は感光性ドライフィルムの世界最大市場となり、需要は拡大の一途をたどっています。今後もさらなる市場拡大が見込まれることから、こうした需要増に対応し、売上を拡大するため、今般生産能力を増強することにしたものです。

当社は本計画の実行により、中国における生産能力を1億 m^2 (年ベース)に拡大致します。主に中国国内向けに販売を計画しており、2006年度には成長性の高い同国内におけるシェアを高めることを目標にしています。

現在当社は、日本、中国、マレーシアに感光性フィルムの生産拠点を、台湾、オランダ、香港、マレーシア、韓国、中国(上海、東莞)に自社ならびに委託スリット拠点を有し、プリント配線板回路形成用感光性ドライフィルム事業において世界トップシェアを有しております。今後は、著しい伸びが期待できる中国華東、華北地区への進出も視野に入れ、積極的な事業の優位性の維持、強化に努めてまいります。

<計画の概要>

設置場所：中国広東省東莞市茶山鎮 茶山工業園
稼動開始時期：2006年1月(予定)
土地面積：約4万 m^2
生産能力：5,000万 m^2 (年ベース)
投資額：約16億円
生産品目：プリント配線板用感光性ドライフィルム

<日立化成工業(東莞)有限公司の概要(生産開始後)>

社名：日立化成工業(東莞)有限公司(英文：Hitachi Chemical (Dongguan) Co., Ltd.)
所在地：中国広東省東莞市茶山鎮 茶山工業園
資本金：1,443万US\$
株主：日立化成工業株式会社 89%
Hitachi Chemical Co. (Hong Kong) Ltd. 11%
事業内容：電気絶縁ワニス、プリント配線板用感光性フィルムの製造及び販売

以上

(報道関係お問い合わせ)

日立化成工業株式会社 コーポレート戦略室 広報担当 野口 TEL 03-5381-2377